

# Fontaine

vol. 32

発行日 2011年7月25日  
発行/岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10  
岸和田市立自泉会館内  
TEL/FAX 072-437-3801  
Email:fontaine@sensyu.ne.jp  
http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

## 岸和田健老大学の 果実を地域に

岸和田健老大学学長 鶴田 隆志



シニアの生涯学習大学の場合・岸和田健老大学（岸和田市野田町）は今年度、34期生47人を迎えました。全学生391人は、わが国を覆う閉塞感・喪失感を吹っ飛ばすように、授業にクラブ活動に東日本大震災の義援金募集などに打ち込んでいます。本学の存在と活動は長寿・高齢社会の優れた実践例といえましょう。

本学は1978（昭和53）年、市内でクリニックを開業していた山田祥次氏（本学理事長）ら3人が将来の高齢化を見越して創立。生涯学習によって「健やかで美しく豊かで幸せな老い」「学生の学生による学生のための大学」との理念に基づき、33年の歴史と伝統を持っています。学生の通学エリアは周辺の9市町に広がり他自治体からの視察も後を絶ちません。

大学生生活のメインは毎週火曜日。市立福祉総合センター大会議室が会場の全体授業は超満員で、学生は「今」につながる政治・経済・社会・文化・宗教などの講義を受けます。その前後に歴史・文学・時事問題などの選択授業があり、学外からの講師は「学ぼう」という意思が伝わってきて思わず襟を正すと口をそろえるほど。

平均年齢73歳。最近まで創立以来の在学者、百寿者もいた学生の「健老年齢」は、物

理的年齢より間違いなく10～20歳若々しい。自己の意思で目標を持ち自由に学び続けている成果でしょう。「学ぶことをやめた人は誰でも老い、学び続ける人は誰もが若い」のです。

毎日のクラブ活動は特筆もの。今年になって太極拳など3クラブが増え現在33クラブ。歩こう会、謡曲、短歌、書道、コーラス、社交ダンス、美術、園芸、写真、インターネット、中国語会話、英会話など。5クラブに入っている趣味人も。多くの学生がいずれかに所属、未知の世界を旅し、自分を伸ばし、学生同士の絆を深めています。

学生生活の成果を発表する大学祭は例年、大人気。今年度から作品展に加え発表会も岸和田市文化祭に参加。前者は9月27日から3日間、後者は10月17日にいずれも市立文化会館（マドカホール）で開催の運びで、学内は大学祭の話題で持ちきり。市民の皆さんには「乞うご期待」。

本学とともに歩んで6年目の私は、地域社会との連携、貢献、本学の蓄積還元の手立てを模索。例えば公民館の高齢者大学とネットワーク化すればより良質の「生涯学習」を実現できるし、修了者の聴講制度も可能ではないか。本学が「地域に不可欠の公共財」であることを思い描いています。

Music Art 'nd Theater Association

岸和田文化事業協会の平成23年度定時総会が、6月4日岸和田市立自泉会館で開かれました。

松本会長は開会にあたり「人間の手で作ったものが人間の手で制御できなくなっている。どうすればいいか、自分の頭で考え行動することが原点である。そのために文化が大切、文化を生活にとりこみ、他人とコミュニケーションし、文化力を高めることが大事。」と挨拶。

来賓の出口副市長は東日本大震災被災者への哀悼を表され、野口市長の祝辞「文化振興の重要性、その継承と発展、岸和田文化事業協会への期待について」代読されました。

ついで金森大阪文化団体連合会事務局長が「大文連の今年度の標語は『大阪に文化力を』です。文化に携わる者が研鑽を積み、文化を広め高めることが肝要です。文化の岸和田、自泉会館ガンバレ」と祝辞を述べられました。

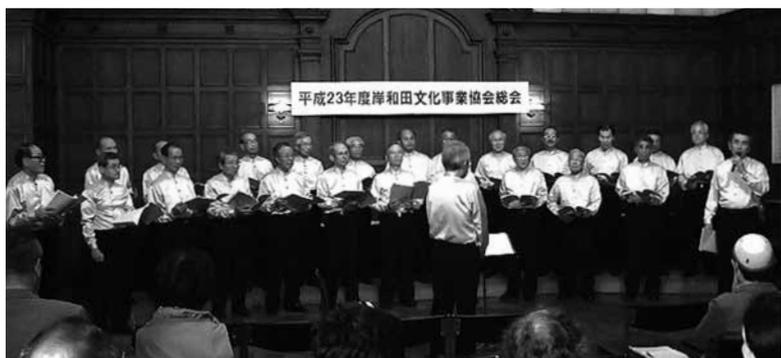
また来賓として岸和田市の西川企画調整部長、玉井文化国際課長、そして浪切ホールの近松館長がご臨席くださいました。

次に議事に入り、工藤正行氏が議長に選出され、全ての議案が承認されました。今年度は役員改選の年にあたり、松本則子さんが会長に再任されたほか、新役員と部会構成理事は表の通りです。

第2部は、男性合唱団「ブーンメイツ」の力強い歌声で幕開け、そのあと昭和初期のレコードコンサート、懇親会と楽しく和やかな一時を過ごしました。  
(紙野陽子)



出口副市長



男性合唱団「ブーンメイツ」



松本則子会長

平成23・24年度役員名簿

役職	部会	氏名
顧問		伊藤 伸史
会長		松本 則子
副会長		西念 秋夫
副会長		行 龍男
専務理事	※総務・財務経理	真下 豊光
常務理事	※企画事業	角野 芳子
理事	〃	赤井 裕子
理事	〃	池上 尚里
理事	〃	小島 恵
理事	〃	加藤久美子
理事	〃	黒木 幸子
理事	〃	堺 多恵
理事	〃	堺 靖師
理事	〃	佐々由佳里
理事	〃	寺本 郁子
理事	〃	中村八千代
理事	〃	宮前 勝代
常務理事	※広報	和田 正則
理事	〃	紙野 陽子
理事	〃	小島 栄子
理事	〃	齒黒 猛夫
理事	〃	藤田 保平
理事	〃	本郷 元子
常務理事	※会 員	小木曾由季
理事	〃	金丸 晏子
理事	〃	大門旗一郎
理事	〃	中川登史宏
理事	〃	橋野 澄子
理事	〃	平瀬 有里
理事	〃	松端 孝元
理事	〃	蓑田 努
理事	〃	山田 広美
監事		吉垣内 利光
監事		吉川 敬子

※部会長(各部会五十音順)

きゅうほう  
「相馬九方」

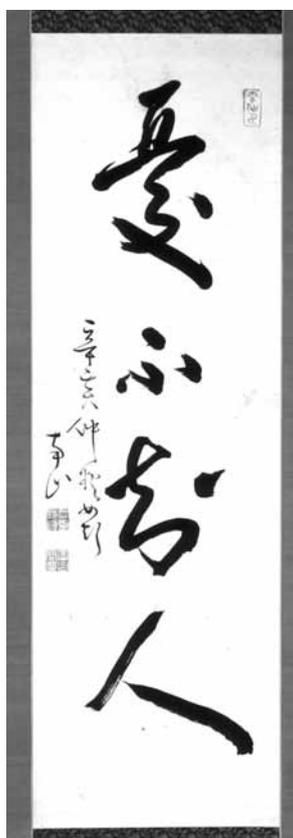


相馬九方像

長く続いた江戸幕府の鎖国政策も終わりに近づいていた嘉永4(1851)年9月、岸和田城下の上砂町(現在の北町の一部)に岸和田藩は藩校講習館を設立しました。教官として招かれたのは、高松藩出身の儒学者相馬九方です。この時、元藩主岡部長慎は九方に会った際に「憂不知人(人を知らざるを憂う)」と認めた書を与えています。これは、「これまで貴方のような素晴らしい人を知らなかったことが残念である」との意味で、初対面で長慎は九方の人柄や見識に敬服したようです。

嘉永6年2月、一人の青年が九方のもとを訪ねて来ました。長州藩の吉田松陰です。松陰は九方と講習館の一室で、囲炉裏を囲み、茶を飲み、煎餅をかじりつつ、夜を徹して時勢論や詩文論を議論しあいました。松陰は大坂湾の警備が手薄なことを繰り返し主張していたと、同席していた九方の弟子土屋弘(鳳洲)が記しています。松陰の滞在中には多くの藩士たちが面会を求めて来ましたが、その中には重臣の岡部結城・降屋宗兵衛もいました。松陰は結城を「頗る才気あり」、降屋を「寛大にして…頗る人望あり」と評していますが、この両者がやがて藩内を二分する騒動の主役になりました。

九方は慶応2(1866)年66歳の時に一旦は隠退



岡部長慎一行書

しますが、明治元(1868)年正月戊辰戦争が始まった頃に再出仕を命じられ、その頃に起こった次期藩主をめぐるお家騒動に巻き込まれることになりました。九方は現藩主岡部長寛ながよしの子長美の教育係でもあったことから、岡部結城と共に長美を次期藩主として支持し、前藩主長発ながゆきの子長職ながもとを支持する降屋宗兵衛らの一派と対立するようになりました。同年5月、九方は降屋らの非法を京都の新政府に訴えましたが、降屋側からも九方らを被告とする訴えがなされ、新政府の裁定は九方らを有罪とし、降屋らは無罪とされました。改元恩赦によって刑罰は減じられたものの、九方は岸和田で永禁錮刑に処せられ、城内の座敷牢に幽閉されました。その後、明治3年に降屋らの横暴が罪に問われることとなり、同年10月に九方は釈放されました。以後、世俗との交流を絶って詩作、読書などで静かに余生を過ごし、明治12年3月に79歳で亡くなりました。かつて講習館で教えを受けた恩師九方の訃報を聞いた元藩士の熊沢友雄は、日記に「道のため尤も惜しむべきの人なり」とその死を悼みました(「熊沢友雄日記」明治12年3月28日条)。九方の墓は南町の梅溪寺墓地にあり、墓碑銘は土屋弘が記しています。

歩いて岸和田のよさを知る

# 岸和田慢歩

第3回 久米田寺から久米田池周辺を巡る

## 岸和田慢歩 MAP



### ①火消し地蔵

火の玉になって行基を焼き殺そうとする男女の妖怪から身を守るために、行基が祀ったとされる地蔵尊。

### ②大門樋

久米田池の一番樋で、大門の前にあるのが名前の由来。取水口ができたので役目を終え、一時は取り除かれたが、複製が作られ説明板も設置されている。

### ③満水競頂石

この石の頂点に水が来ると久米田池が満タンになるという。取材時は前日の大雨のため水没状態。刻んである字の大きさは1つ7寸(約21センチ)四方らしい。

### ④取水塔

大門前の一番樋と、かつてここにあった2番樋を併合して完成。ここから流れ出た水が八木地区、春木地区を流れる天の川となる。

### ⑤明星坂

古くは松尾道として利用された生活道の起点で、この坂を下って田治米、摩湯を経て、唐国から松尾寺へ到る。

### ⑥乙樋

田治米方面への水路。名前の由来は久米田池伝説の準主役である、田治米の「おとよさん」、別名「乙御前」からきているとの説がある。

※編集の都合上、地図の縮小率は正しいものではありません。  
国土地理院発行やネットなどの正式な地図と照らし合わせて、散策することをおすすめします。

奈良時代に行基上人が築いたとされる「久米田池」。今回は前回の続きで、久米田寺から久米田池の周囲を巡り、その後、意外と知られていない史跡を訪ねて、再び池畔に戻るコースを紹介します。

理事 藤田保平・齒黒猛夫

### ⑦満水競頂石

こちらの競頂石は水位が浅いのか、梅雨時にもかかわらず、姿をはっきりと見せていた。

### ⑧ドンド

「ドンドン」ともいい、久米田池の水込口。池に突き出た足場と道路向かいの公園は、休憩するのにぴったりな場所。

### ⑨栄川

もとは「裂井川」といい、牛滝川から水を送る役目を負う人工川。牛滝街道へ向かう川沿いは旧家の白塀とあいまって落ち着いた雰囲気がかもし出している。

### ⑩岡山菅原神社と円満寺

明治の廃仏毀釈や神社の合祀で少なくなったが、江戸時代までは神仏混合により、同じ境内に神社と寺が設けられた例は多く、その形を今に残す史跡。

### ⑪岡山戎神社

「金毘羅」「住吉」、そして「戎神」は海の神様とされ、海岸に近いところに祀られることが多いので、丘陵に建立された戎神だけを祀る神社は珍しい。

### ⑫岡山御坊跡

文亀3(1503)年に本願寺実如上人によって創建された、浄土真宗泉州南部への進出の拠点。戦国時代の永禄5(1562)年には久米田合戦で焼け落ち、間もなく再建されたものの天正8(1580)年には織田信長の配下、寺田又右衛門らによって再度焼き討ちされ、廃絶となる。

### ⑬久米田池の風景

コースの最後に見渡せる久米田池周辺の風景。

久米田寺前の信号を渡って、整備された周遊道路を左に曲がり、車道を横断すると「火消し地蔵」が祀られています。そのまま、元の周遊道路へ戻ると、池に突き出た「大門樋」の複製があり、しばらく歩くと池の中に「満水競頂石」が見えます。その隣にあるのが久米田池のシンボリック的存在でもある「取水塔」。道なりにまっすぐ進むと「乙樋」があり、しばらく進むと、もうひとつの満水競頂石の姿が見えます。

満水競頂石のすぐ側には「ドンド」があり、周辺は公園として整備され、久米田池の取水川である「栄川」が流れています。

栄川に沿って久米田池を離れ、路地を右に曲がると天神社が隣接した円満寺。元の道に戻り、橋を右折でわたってすぐのところにある急な坂を右折。そのまま進むと「岡山戎神社」。神社に沿うのではなく、緩やかに左折してまっすぐ進むと「岡山御坊跡」に到着。右に曲がって急な坂を下ると、再び久米田池に到ります。

今回のコースは高低差が激しいため、足腰に自信のない方は少し辛いかもかもしれません。それに、戎神社と岡山御坊跡は行き先を示す表示もないため、探すのに苦労しますが、最後の坂から見える久米田池の風景は、苦労した甲斐があったと思うほどの絶景です。

## 皆様の声をお寄せください

会長 松本 則子

岸和田文化事業協会では、一年に4回「ぬーべる ふおんてーぬ」という機関誌を発行しています。記事の内容は、いろいろな知恵を出して、岸和田の町をぶらり歩いて見るコーナーや、岸和田の歴史を作った人物の事など、岸和田にスポットをあて、読んで楽しい情報誌となるよう考えています。

発行した後、担当者の間では、今号についてよかった点や反省すべき事など話し合っていますが、いつも会員の声を載せられないかなという話題が出ています。

今号から、「岸和田慢歩」を読みやすくするために紙面を上げるとともに、会員の投稿コーナーを半ページ設けることになりました。そのため、会員の皆様への呼びかけを今回掲載することになりました。その呼びかけ文を会長が書くように編集部から言われました、まず隗より出でよというわけです。

そこでお願いです。例えば「岸和田慢歩の記事を見て、そのコースを歩きました」という感想や、「フレッシュコンサートを聞きました」とか、「フレッシュコンサートに出た人と友達で、この人こんな人ですよ」とか、「自泉会館をスケッチしました」とか、何でもいいので、皆さんの声をお寄せください。

事業協会の催しの感想、「ぬーべる ふおんてーぬ」の感想、あなたの岸和田発見、私の自慢したい場所、うんぬんかんぬん。ついでに、このコーナーのタイトルについてもお知恵を貸してください。よくあるのは「みんなの声」ですが、「ぬーべる ふおんてーぬ」らしいしゃれた名前がいいなあとかつてな事を考えています。

もちろん、事業に関するいろいろな提案は大歓迎です。去年、評判だった杉江能楽堂で実施した「能舞台で奏でる和洋の調べ」も、岸和田に能舞台があるのによく知られていない、ここで何かできたらいいなあとという事から生まれてきた企画でした。

いろいろな人の思いや声が集まると思わぬ力になります。みんなで楽しい事を考え、みんなで楽しむ、そうすると「みんなが住みたく文化の町岸和田」になると思います。思いも声にしないと、心のなかだけでは形にならないので、なんでもかんでも声に出して聞かせてください。

◆岸和田文化事業協会「ぬーべる ふおんてーぬ」  
〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内  
TEL/FAX 072-437-3801  
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

## Cultural Hot Spot In Kishiwada

### 大阪府下でも1、2を争う実力 岸和田市立産業高校 弓道部

柔道と剣道は高校の体育の授業にも採用されていて、部活動でもおなじみの競技。しかし、同じ武道でも弓道部のある高校は少なく、現在、泉南地域で唯一、存続しているのが岸和田産業高校だ。今回は歴史も古い同校弓道部を訪ね、お話を伺ってきた。



3年生の練習風景

### 約60年の歴史と輝かしい実績

岸和田市立産業高等学校弓道部の創部は戦後間もない昭和27年、約60年の歴史を誇る。全国大会の優勝など、輝かしい実績も残し、2011年度のインターハイでも個人戦への参加が実現している。

そんな弓道部を率いる部長が3年生の今村彩乃さん。「体験入部で雰囲気良かったのと、マンガで弓道をしているシーンに憧れて決めました」と入部の動機を話す。

思い出に残っているのは2010年度の近畿大会において団体・個人とも優勝を果たしたことで、これは同校24年ぶりの快挙。「しんどいこともあったけど、礼儀作法が身に付き、普段の生活でも挨拶や敬語、そしてきちんと人の目を見て話すことができるようになりました」と今村さん。社会人になっても、できれば弓道を続けたいと希望を語る。

### 襟を正される練習風景

現在の部員数は22人。最も多いときは45人前後で年によって増減の幅があるらしい。特に女子生徒の入部希望者が多く、現在も7人の3年生は全員女子。その傾向に関して「アニメやマンガに憧れて、入ってくる生徒が多いですね」と話してくれたのが、同部顧問の齋藤良房先生。「ですから、弓道を取り上げたマンガやアニメが流行ったときには入部者数が増えて、そうでないときは減るといった状況が続いています」と話す。

大阪府下に弓道部のある高校は27校（大阪府高等学校体育連盟弓道専門部加盟校）。半数以上が私立校で、その中でも産業高校は1、2を争うレベルにある。それでも、「常に全国優勝を目指せるほど、レベルアップをしたいと思います」と齋藤先生。

弓道は直接誰かと争う競技ではなく、それだけにプレッシャーに負けない意志の強さが求められる。さらに、武道であるがため、礼儀作法も重要だ。実際、取材で道場を訪れても生徒の礼儀正しさや、私語の全くない雰囲気、凛とした空気の中で粛々と進められる練習風景に圧倒されてしまう。

楽しくて新しい若者文化も、もちろん必要だが、日本古来の文化を大切にしている高校生の姿に襟を正される思いがした。

（取材・文 歯黒猛夫）



部長の今村彩乃さん



1年生と2年生男子の練習風景

## アンケートからの抜粋

# Event Report

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。  
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

### 第4回フレッシュプレミアムコンサート ～未来へ ここから～

平成23年3月19日(土)に、平成22年4月～12月のフレッシュコンサートの出演者のなかから10人を推薦し、マドカホールでコンサートを実施し、150人の入場者がありました。



#### 〈皆さんの声〉

- ピアノや声楽だけではなく、普段聴くことのないクラシックギターは新鮮でした。
- 空席の多いのが残念。折角の良い演奏やソプラノの歌声を沢山の人の聴いてもらいたと思います。
- ヴァイオリンやフルートなどもあれば良かったと思います。
- 頑張っている若手の演奏を聴けて、東日本大震災で気持ちが落ち込んでいたのが少し元気がでました。

### 会員対象事業「ベネチアンガラスのペンダント作り」

平成23年3月24日(木)に、自泉会館展示室を使い、遊戯工房の井口 獣先生に講師をお願いし、充実した半日を過ごし、オリジナル作品を作りました。



#### 〈皆さんの声〉

- それぞれの個性が出て、楽しい作品ができました。また、作ってみたいです。
- 珍しいものを作れたのは、嬉しいです。
- 自分が作ったということで、愛着がわいてきます。

### 第24回自泉フレッシュコンサート ～春風に誘われて～

平成23年4月24日(日)に、ピアノとソプラノのコンサートを自泉会館ホールで実施し、63名の入場者がありました。



#### 〈皆さんの声〉

- 初めてこのようなコンサートに出席しましたが、とても素敵でした。
- 日本は大変な時ですが、明るい清らかな歌声に心洗われる思いでした。
- 休憩で、飲物とお菓子をいただき有難うございました。

### 会員対象事業「筍ごはん和大福茶会」

平成23年4月30日(土)に、五風荘より移築された約250年前の田舎家「時雨草堂」(岸和田市三田町)で、筍ごはん和大福茶をいただきました。



#### 〈皆さんの声〉

- 念願であった田舎家でのお茶席。当主によるお点前とお話による大福茶会、炉端を囲んでの筍ごはん。最高でした。
- 新で炊いた筍ごはんも最高でした。
- 感動と至福の時を過ごせた一日でした。

### 東日本大震災チャリティコンサートin jisen 「みんな、元気になろう。」



平成23年5月5日(祝)に、協会として、被害に遭われた人々に思いと義援金を届けたいと自泉会館ホールにおいて、チャリティコンサートを実施しました。

本協会の音楽関係の理事、桜台中学校合唱部、大阪音楽大学の松田淳一氏等の出演協力を得て実施し、入場料188,000円、当日の寄附金54,000円を日本赤十字社等を通じて被災地に届けました。

### 第25回自泉フレッシュコンサート ～緑の風にさそわれて～

平成23年6月11日(土)に、ピアノとソプラノのコンサートを自泉会館ホールで実施し、62名の入場者がありました。



#### 〈皆さんの声〉

- 非常にレベルの高い演奏会で、とても楽しませていただきました。
- とても美しい歌声と、素晴らしいピアノ演奏を有難うございました。
- 素晴らしい演奏を聴くことができ、いい休日になりました。

# 岸和田文化事業協会の事業 Information

## 第26回自泉フレッシュコンサート ～真夏のさわやかコンサート～

音楽を学び、プロフェッショナルとして  
歩み始めた新人演奏家等によるコンサート。

日時:平成23年8月7日(日)午後2時開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:和田有理沙(ピアノ)

藤田 充子(ピアノ)

中西 純子(ピアノ)

内井 佳奈・大江 彩(ソプラノデュオ)

入場料:一般前売1,200円(当日200増)

会員前売1,000円(当日200増)

## 音楽世界旅 VOL.6 インド編

レクチャー・コンサート

### 古典舞踊と古典音楽“北インド芸術の神秘”

不思議な魅力に満ちた大国インドから、特に北インドに伝わる  
神秘的な古典舞踊と古典音楽をクローズアップします。

日時:平成23年9月24日(土)午後2時開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:[お話] 西岡信雄

[演奏] 田中峰彦(シタール)

HIROS(パーンスリー)

田中りこ(タブラ)

[舞踊] 柳田紀美子(オリッシィ)

ナリニ・トシュニワルNalini Toshniwal(カタック)

入場料:一般前売2,500円

会員前売2,000円(当日各300円増)

企画:大阪音楽大学音楽博物館

## 能楽へのいざない

### 片山九郎右衛門 能の世界

今年1月に襲名した十世片山九郎右衛門による「船弁慶」後半と、  
能のお話や楽器の説明もお楽しみいただけます。

日時:平成23年10月21日(金)午後7時開演

会場:杉江能楽堂

出演者:片山九郎右衛門

入場料:一般前売3,500円

会員前売3,000円(当日各300円増)

チケット発売日 8月16日

## 岸和田ゆかりのソリストを集めて 第4弾

当協会理事・会員で演奏家でもあり、また自泉フレッシュコンサート等  
にお力を貸してくださっている先生方によるコンサート。

日時:平成23年10月22日(土)午後6時半開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:堺 多恵・坂本佳奈美(ピアノデュオ)

堺 靖師(チェロ)

角野芳子(ソプラノ)

入場料:一般前売3,000円(当日300増)

会員前売2,500円(当日300増)

## 第27回自泉フレッシュコンサート ～秋に思いをはせて～

音楽を学び、プロフェッショナルとして  
歩み始めた新人演奏家等によるコンサート。

日時:平成23年10月29日(土)午後7時開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場料:一般前売1,200円(当日200増)

会員前売1,000円(当日200増)

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

平成23年度(平成23年4月～平成24年3月)

## 会員募集

「岸和田文化事業協会」は、文化・芸術の発展をめざして活動する市民文化団体です。  
鑑賞や参加だけでなく、創造、発表、企画、情報発信、提言など自らのネットワークを活用して  
「地域の文化環境」づくりに貢献することを目的としています。文化・芸術を愛し、会の趣旨に  
賛同される方はどなたでも入会できます。岸和田市在住以外の方も歓迎いたします。

年会費	個人会員(1口)	2,000円	団体会員(1口)	5,000円
(入会費不要)	家族会員(1口)	1,000円	法人会員(1口)	10,000円
	(個人会員の同居家族)		特別会員(1口)	50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。

郵便振込の場合は

口座番号 00970-9-28145

加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで。

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

## nouvelle Fontaine vol.32

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2011年7月25日

◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員

和田正則・紙野陽子・小島栄子  
齒黒猛夫・藤田保平・本郷元子

### 編集後記...

この原稿を書いている今日は、東日本大震災から100日目です。あの胸の潰れるような自然の猛威の爪跡と、それに続く当に人災である福島第一原発の事故を体験した私たち。「今、しなくてはならないことは何か」多くの人が自分の問題として日々問い続けていると思います。当協会もチャリティコンサートを実施しましたが、今後長期の支援活動の継続が必要です。

6月4日、定時総会が開催され本年度の活動方針、新役員を決定しました。

文化の力こそ人間の生きる根底の力だと信じます。文化活動を目的とする当協会の力を発揮して、「3.11以後」の、それぞれ多方面の課題に取り組んでいきたいものと思います。(本郷)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索